

神協連ニュース

No.462 2020年1月17日

横浜市港北区新横浜2丁目6番地13
新横浜ステーションビル9階 〒222-0033
TEL 045-473-1031 (代表)
FAX 045-473-9272
Email:kccf@qf7.so-net.ne.jp
http://www.coopkana.jp

2020年 神奈川県生活協同組合連合会 賀詞交歓会が開催されました



- 日 時／2020年1月7日(火) 10:30～13:00
- 会 場／ワークピア横浜 2階 おしどり・くじゃく
- 出席者／275名
- 主 催／神奈川県生協連合会
- 協 力／神奈川県生協連・組合員活動委員会：

ユーコープ、パルシステム神奈川ゆめコープ、生活クラブ生協、うらがCO-OP、ナチュラルコープ・ヨコハマ、福祉クラブ生協、やまゆり生協、全日本海員生協、富士フィルム生協、医療生協かながわ、神奈川北央医療生協、川崎医療生協、神奈川みなみ医療生協、日本労働者協同組合連合会センター事業団神奈川事業本部

会員生協：ユーコープ、パルシステム神奈川ゆめコープ、生活クラブ生協、うらがCO-OP

- 司 会／第1部：小倉 克巳 神奈川県生協連常務理事(横浜国立大学生協専務理事)
大場 英美 神奈川県生協連理事 (福祉クラブ生協理事長)
- 第2部：柳下 信宏 神奈川県生協連常務理事(生活クラブ生協常務理事)
石田 昌美 神奈川県生協連統括マネージャー

- 主催者挨拶／當貝 伸一 神奈川県生協連代表理事会長

- ご来賓挨拶／



行政を代表して
神奈川県副知事
中島 正信 様



議会を代表して
神奈川県議会副議長
渡辺 均 様



協同組合を代表して
神奈川県農業協同組合中央会
代表理事会長 長嶋 喜満 様



労働福祉団体を代表して
神奈川県労働者福祉協議会 会長
吉坂 義正 様



乾杯の音頭
株式会社神奈川新聞社 社長
並木 裕之 様

- 中締め挨拶／高橋 勇美 神奈川県生協連理事(医療生協かながわ専務理事)



2020年 賀

■ 鏡開き

横浜市 経済局長	林 琢己 様
神奈川県ユニセフ協会 会長(横浜国立大学学長)	長谷部勇一 様
日本労働組合総連合会神奈川県連合会 事務局長	林 克己 様
主婦連合会 会長	有田 芳子 様
公益財団法人横浜YMCA 総主事	田口 努 様
公益財団法人かながわ国際交流財団 専務理事	水田 秀子 様
ガールスカウト神奈川県連盟 副連盟長	山口 仁美 様
神奈川県漁業協同組合連合会 参事	樋爪 由幸 様
横浜市会 議長	横山 正人 様
株式会社神奈川新聞社 代表取締役社長	並木 裕之 様
神奈川県弁護士会 副会長	青山 良治 様
一般社団法人全国消費者団体連絡会 代表理事・事務局長	浦郷 由季 様
公益財団法人横浜市消費者協会 理事長	阿南 久 様
特定非営利活動法人(適格消費者団体)消費者支援かながわ 理事長	武井 共夫 様
神奈川県原爆被災者の会 会長	丸山 進 様
特定非営利活動法人神奈川災害ボランティアネットワーク 理事長	河西 英彦 様

購買生協専務会スタディツアーでコープみやざきに学びました

神奈川県生協連では、先進生協・協同組合などの事例に学び、今後の事業と活動に生かすことを目的に、毎年研修を行っています。今回の研修先のコープみやざきは、2019年3月、第9回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞を受賞しました。働きやすい環境で職員一人ひとりが裁量権を持ち、組合員満足を第一に考えた経営を徹底していることが評価されたものです。

■ 日 時／2019年12月5日(木)～12月6日(金)

■ 参加者／6生協7名

金子 茂（富士フィルム生協専務理事）、野村 晃一（全日本海員生協専務理事）、加藤 慎吾（やまゆり生協専務理事）、渡邊 たかし（パルシステム神奈川ゆめコープ専務理事）、朝原 隆充（ユーコープ専務理事）、庭野 文雄（神奈川県生協連専務理事補佐）、相田 祐二（神奈川県生協連事務局長）

■ 訪問先／1日目：コープみやざき花ヶ島店、コープみやざき本部
2日目：コープみやざき南支所



■ 対応をして頂いたコープみやざきの皆さま

真方 和男	代表理事 理事長
河田 公克	代表理事 専務理事
吉村 浩昭	店舗事業本部 花ヶ島店 店長
日高 義文	共同購入事業本部 本部長
田島 正剛	共同購入事業本部 地域責任者 支援課 部門責任者
甲斐 大策	共同購入事業本部 宮崎南支所 エリア長
徳田 淳一	共同購入事業本部 宮崎南支所 エリアサポーター
野崎 修一	コープみやざき南支所 チームリーダー
日高 孝典	コープみやざき南支所 チームリーダー
椎葉 翼	コープみやざき南支所 チームリーダー
原田 海	コープみやざき南支所 地域責任者
久米村 政誌	コープみやざき南支所 地域責任者



快く対応して下さいましたコープみやざきの皆さまに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



立憲民主党神奈川県連合と社会民主党神奈川県連合との政策懇談会を開催

神奈川県生協連と県議会各会派の皆さまとの政策・予算要望懇談は2009年の自由民主党の皆さまとの懇談から始まりました。以来、県政に関する翌年度の県政政策・予算要望に関する県議会各会派の議員団のヒアリングの場に参加をして、県政に対する生協の要望を伝え、懇談を行っています。また必要に応じて随時、懇談会や学習会、生協施設見学会も行っています。

立憲民主党 神奈川県連合の皆さまとの懇談

■ 日 時／2019年12月10日 13:10～13:55

■ 会 場／横浜市技能文化会館 6階 603研修室

■ 懇談内容／カジノ、SDGs、エネルギー、大規模災害、フードバンク等

社会民主党神奈川県連合の皆さまとの懇談

■ 日 時／2020年1月7日(日) 14:00～15:30

■ 会 場／ワークピア横浜 3階 302室

■ 懇談内容／質疑と意見交換：奨学金制度、子ども食堂、子どもの学習支援、エネルギーの地産地消、水道事業、子どもの食と給食、フードバンク、カジノ、平和等





神奈川まるごと健康づくり

☆神奈川まるごと健康づくりは、組織の枠を超えたつながりづくり、生協自身の健康づくりにもつながっています。

組合員による健康づくり・健康チェック

神奈川の生協では、力を合わせて健康づくりを「神奈川まるごと健康づくり」として推進しています。慶應義塾生協の健康づくり企画「KKフェスタ～年越し前に一度自分の体を見つめ直してみよう!～」に協力して、日吉キャンパス内の生協食堂で、初めてとなる健康チェックを行いました。

学生時代は自分の健康を過信して、暴飲暴食、喫煙、夜更かしなどの生活を送り、定期健診もおろそかにする傾向にあります。しかし、それは体の中で生活習慣病やがんの芽を育てているようなものです。

節約してしまいがちなのが日々の食費です。食事がカップ麺や菓子パンのみという方も多いです。食費の節約や忙しさ、ダイエットを理由に食事回数を減らす人も見掛けます。朝食を食べない、夕食を深夜に食べるなどの不規則な食事スタイルは、自律神経の機能低下や免疫力低下などにつながります。しています。

そして短期的には朝起きられない、集中力の低下、疲れやすいといった症状を起こし、日常生活に支障を来します。長期的には生活習慣病(予備軍)になるほか、血糖値の上昇や肝機能の低下、痛風になる可能性も高くなります。目先の食費を抑えることで、自分の将来の健康を損なっているのです。

食費は「近い将来の健康」に対する“投資”です。人生100歳時代とも言われる長い人生を健康に暮らしていくための土台をつくる大切なこの時期。健康的な生活習慣を作るときです。「人生100年 筋量増やして健康寿命」とは、今年の全国糖尿病週間(11月11日～17日)の標語でした。

大学生協は、学生・教職員の健康な大学生活を支えているのだなと実感できる取り組みでした。

この取り組みは、日本コープ共済連の助成を受けて実施

★慶應義塾大学 日吉キャンパス

- 健康チェック参加者／68名
- 測定者／13名(慶應義塾大学生協、ユーコープ、神奈川県生協連)
- 測定項目／体重、BMI、体脂肪率、筋肉量、体内水分量、基礎代謝、血圧、ストレス・リラックス度、血管年齢、握力、足指力、呼吸力
- 測定使用器具／血圧計、ストレス計、体組成計、握力計、足指力計、呼吸圧計



JAさがみとユーコープで共同企画 「とれたてトラック市 in やまと」

2017年3月に発足した「かながわCo-ネット」(神奈川県協同組合連絡協議会)では、地域における協同組合間連携をすすめ、協同組合の活動が地域で見えるようにと取り組んでいます。このJAさがみとユーコープの「トラック市」は、昨年の湘南辻堂駅前店、萩園店に続いて3回目になります。

今回の「トラック市」でも、立派な大根や長ネギ、ほうれん草など20種類近い新鮮な地元野菜と花卉がトラックの荷台に満載で到着し、来店者に大好評でした。また、JAさがみ女性組織「さわやか倶楽部」の皆さまによる、地元の大和産野菜の「とん汁」が無料でふるまわれ、お買い物とともに交流の場にもなりました。終了後には交流会により、更にお互いの事業や活動に対して理解を深め合いました。



■日時／2019年12月15日

■会場／ユーコープ南林間店

■主催／さがみ農業協同組合(大川良一代表理事組合長)・ユーコープ

生協運営協議会・第2回全体交流会

神奈川の生協では、くらしに密着した様々な課題への取り組みを通じて生協や協同組合間や行政・諸団体との関係づくりをすすめています。こうした協同の取り組みをすすめるために、現在県内6市（横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、大和市、藤沢市）において生協運営協議会として活動が行われています。第2回全体交流会は「フレイル予防の理解と予防運動について」をテーマに学習し、4つのグループに分かれて交流を行いました。

■ 日 時／2019年12月23日(月) 13:30～15:30

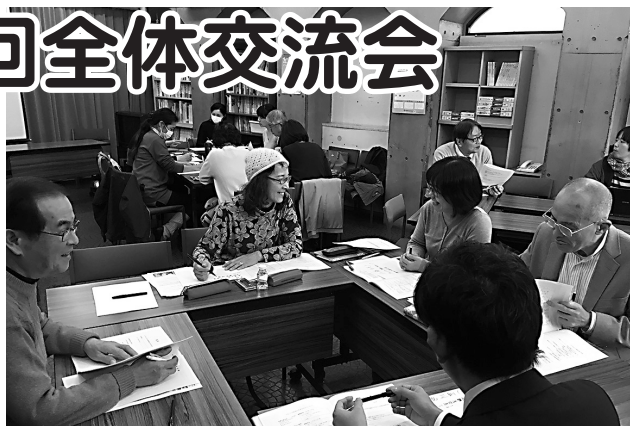
■ 会 場／新横浜 オルタナティブ生活館 5階 まなびや

■ 参加者／23名(6生協運営協議会、7生協)

■ テーマ／「フレイル予防の理解と予防運動」

■ 内 容／学習：「フレイル予防の理解と予防運動」

講師：荷見 正則 神奈川みなみ医療生協組織部長
グループ別交流と発表



ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金 ご協力ありがとうございました

すべての子どもに
生きるチャンスを

ユニセフのハンド・イン・ハンド募金は、毎年、募金月間(11月～12月)に実施する、誰でもが参加できるユニセフの街頭募金活動です。41回目となる今年は、「すべての子どもに生きるチャンスを」とのスローガンのもと、神奈川県ユニセフ協会は、県内5か所で、幼い子どもたちの命を守るための支援を呼びかけました。

守ることができる命。世界では、5歳の誕生日をむかえられずに年間530万人の子どもたちが肺炎、下痢、はしかなど簡単に予防できる病気などのためにその命を失っています。

ユニセフは、予防・治療が可能な病気で子どもたちが命を落とすことがないよう、予防接種の実施、母乳育児や石けんを使った手洗いの促進、栄養バランスのよい食事作りの講習、安全な飲み水やトイレへのアクセスの拡充といった多岐に亘る支援を行なっています。ユニセフは、すべての子どもの命が守られ、それぞれの未来を切り開いていけるように支援を続けています。

神奈川の生協はユニセフの活動を支援しています。たくさんのご協力ありがとうございました。

